

## 丹波縄文の森塾 活動報告



令和6年6月15日（土） 晴／曇

### サツマイモの苗植え

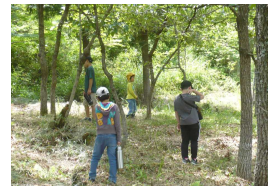


きょうの体験は、サツマイモの苗植えと里山の観察でした。べにはるかという品種のサツマイモを一人2本ずつ植えました。べにはるかは、しっとりとした食感と甘みがある品種と聞いているので秋の収穫が楽しみです。

昼食までの少し時間を使って、芝生広場でドッジボールをしたり、クヌギ林へクワガタやカブトムシを探しにいきました。

ドッジボールは、みんなでルールを決めて楽しみました。クワガタ取りでは「クワガタを見つけたけれど逃げられてしまった」と残念がってる人もいました。

お腹がすいたところでちょうど昼食時間になりました。きょうのメニューは豚丼とフルーツ白玉。豚丼は、おかわりして、みんなで残らずたいらげました。午前中、暑い中での活動のあと、炭酸のきいたフルーツ白玉は、とってもおしかったです。もう一杯ほしいところでした。



### お昼の時間

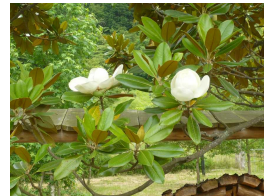


### 里山観察

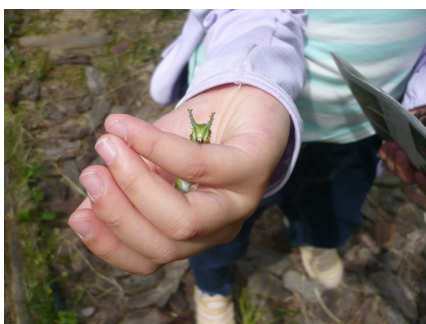


午後は、角谷森づくり活動アドバイザーに里山の植物や生き物の説明を聞いて、里山の観察をしました。鳥の鳴き声を聞きながら、ヒツジグサ（スイレン）、チガヤ、ドクダミ、ブタナ、ヒメジョオン、タイサンボク、テーダマツなどの植物を観察しました。

<タイサンボク>



### オオムラサキの幼虫



また、オオムラサキのケージでは、幼虫やサナギ、そして蝶になったオオムラサキに触れることができました。カタツムリのように角を出した幼虫。触るとブルブルッとふるえるサナギ。きれいなムラサキ色の成虫など実際に触れてみることで新たな発見がありました。

<オオムラサキ>

